

めざします。企業の繁栄と社会への貢献

法人会だより

特集号

公益社団法人 沖縄北部法人会 広報委員会

名護市宇茂佐の森5-2-7 電話 (0980) 54-3120/FAX (0980) 50-9053

MAIL info@okihokuhoujin.com URL <http://www.okihokuhoujin.com>

「ゆいまーる 未来をまもり、拓く」

第36回法人会全国青年の集い沖縄大会に向けて

座

談

会



(左から)新城良仁氏、平良修一氏、大城崇氏
那覇セントラルホテル「九年母亭」にて

〈司会〉 銘苅 茂
沖縄県法人会連合会 専務理事

第36回法人会全国青年の集い沖縄大会
大会会長 平良 修一氏
(大鏡建設(株))
実行委員長 新城 良仁氏
(株)まえたか)

沖縄県法人会連合会青年部会連絡協議会
会長 大城 崇氏
(きんメインテナンス(株))

大会スローガン「ゆいまーる 未来をまもり、拓く」を掲げ、第36回法人会全国青年の集い沖縄大会が11月24、25日、沖縄アリーナ・沖縄市体育館・沖縄市武道館を会場に開催されます。全国各地の法人会青年部会員約1600人の参加を想定しています(7月現在)。そこで、沖縄大会開催に向けて、沖縄県法人会連合会青年部会連絡協議会の大城崇会長、第36回法人会全国青年の集い沖縄大会の平良修一大大会会長、新城良仁実行委員長を招いて座談会を開き、抱負などについて語り合ってもらいました。(敬称略)

初の「健康経営大賞」開催

「そもそも「法人会全国青年の集い」は、いつからどんな目的で開催しているのですか。

大城 「法人会全国青年の集い」は、昭和62年第1回仙台大会から始まりました。法人会青年部会は、租税教育活動、部会員増強活動の2本柱を掲げ、1年間の活動を経て得た成果を毎年「法人会全国青年の集い」で確認し、励まし合い、さらに前へ進むための活力を得られる機会にしていきたい。その歳月のなかで、平成10年青年部会員増強運動を全国的に展開し、平成20年、第22回長崎大会から租税教育活動事例発表会を催すようになりました。そして、今回の沖縄大会では、3本目の新たな柱として「財政健全化のための健康経営プロジェクト」を本格的に立ち上げます。実は、昨年、コロナ禍によりハイブリッド形式で開催した佐賀大会で「健康経営大賞」のプレ大会を開いています。その経験を踏まえて、沖縄大会では、第1回「健康経営大賞」を正式に開催する運びになりました。



大城 崇 氏

「沖縄大会開催に向けて、どのような経緯をたどってきましたか。」

大城 令和元年5月に準備委員会を設立しました。当時の私は単位会の部会長を務めており、準備委員会の皆さんと、開催会場を決める議論をよく交わしました。そのとき、今大会のメイン会場となった沖縄アリーナはまだ建設中で、準備委員会の皆さんと現場を視察し、「ここで開催できないものか」と話し合ったのをよく覚えています。沖縄開催決定後、準備委員会は実行委員会へ名称を変更し、以来、毎月1回集まり、開催に向けて取り組んでまいりました。

「沖縄での開催は初めてですか？」

大城 2回目です。前回は、23年前の平成11年でした。先輩方の話によりますと、当時の実行委員会は、まだ正装として定着していなかった「かりゆしウエア」を参加者2200人へ事前プレゼントし着てもらって会場に集合するという演出をしました。「かりゆしウエア」で一体感が醸されたことからマスコミが珍しがって取り上げてくれたそうです。「かりゆしウエア」のこのような活用方法は、「法人会全国青年の集い」がさきがけになったようです。

「ゆいまーる」がキーワード

「今大会を開催するにあたっての抱負を。」

平良 沖縄大会の開催には、本土復帰50年を迎える年の「法人会全国青年の集い」はぜひ沖縄で、という先輩たちの強い思いがありました。順番を待つてではなく、自ら手を挙げて開催が決まったケースはまれだそう。節目の年に青年経済人が全国から沖縄に集まってくるのはとても意義深いことだと思います。加えて、コロナ禍により、一昨年の島根大会は開催を断念し、昨年の佐賀大会は現地での参加者を制限したハイブリッド開催を余儀なくされただけに、3年ぶりのフル開催は、インパクトが大きいと思います。節目の50年であり、コロナ明けでもあるだけに、新たなかたちで法人会の活動をスタートできるような大会にしたい、と考えています。また、メイン会場の沖縄アリーナはとも素晴らしい施設で、いままでの「法人会全国青年の集い」の会場にはないレベルだと思えます。沖縄アリーナで、ここ数年できなかった式典やプレゼンをしっかりやることにより、来以降の「法人会全国青年の集い」の刺激になれば、と思っています。

「大会スローガン、大会シンボルマークは「ゆいまーる」がキーワードですね。」

平良 法人会の目的は「税知識の普及、納税意識の高揚」です。青年部会はその目的に寄与するため「税の本質は思いやりである」という思いで「租税教育活動」に力を入れてきました。沖縄の方言である「ゆいまーる」も、思いやり相互扶助、助け合いのこころです。その言葉は沖縄の徴税と、関わりがあるという説もあります。そこで、沖縄大会のスローガンを「ゆいまーる 未来をまもり、拓く」としました。シンボルマークには、世界共通の普遍的な言葉にな



平良 修一 氏

るとの思いからローマ字表記でYUIを入れました。沖縄大会は、地域や国の発展を担う子どもたちの未来を守り、子どもたちの世代に過大な負担を強いることのないよう明るい未来を切り拓いていくために、全国から集う仲間とともにいろいろな情報を交換・共有し、助け合いながら、来以降の活動につなげていく機会になればと思っています。そのなかで、新たな試みとして「健康経営大賞」を開催し、また、新たに「会員交流分科会」も設けました。法人会として、このような新たな試みを沖縄から発信していくことは意義があると思っています。

「会員交流分科会」に一般会員も

「大会スケジュールについて。とくにアピールしたい催しは。」

新城 「法人会全国青年の集い」の各催しは、大会式典にしろ、大懇親会にしろ、全国から集まってきた青年部会員が、この一年間に取り組みできた成果を確認し、情報を共有して励まし合いながら次へつなげていくのが基本です。租税教育活動プレゼンテーション(12チーム予定)部会長サミットなどももちろんその一環です。かかりとした内容にしたいと考えています。そのうえで、沖縄大会の目玉をあげるなら、お二人がすでに紹介してくださった「健康経営大賞」と「会員交流分科会」です。「健康経営大賞」は、約10チームがプレゼンを行う企画です。初めての正式開催ですので、注目されると思います。一方、一般会員も含めて議論する「会員交流分科会」は、地域でそれぞれに取り組みできた「租税教育活動」や「健康経営プロジェクト」などの成果や課題を話し合い、参考にし合う機会です。きっちりとした第一歩を踏み出せばと思っています。「記念講演」については「健

康経営」の専門家である千葉大学医学部付属病院特任教授の吉村健佑氏を講師に招き、「財政健全化につながる「健康経営の実装と実践」をテーマに講演していただく予定です。

「会場について。Bリーグ(国内男子プロバスケットボールリーグ)中継などで、沖縄アリーナは全国的にも注目されていますね。」

新城 沖縄大会の会場については、準備委員会で、那覇空港からのアクセスなどいろいろな想定をして検討しました。そのなかで、沖縄市内にすばらしい大型施設ができることから、関係者が視察をした結果、沖縄アリーナをメイン会場にしようかという意見にまとまっていきました。しかも、沖縄アリーナをメイン会場に据えたと、隣接する沖縄市体育館、沖縄市武道館を活用できますので、大会運営上好ましいことが分かりました。そのような経緯で、沖縄大会は、沖縄アリーナ・沖縄市体育館・沖縄市武道館の3会場での開催に決まりました。沖縄アリーナは、他府県の施設とは異なる魅力があり参加者の印象に残ることは間違いないと思っています。沖縄市も協力的です。

平良 会場について一言添えますと、沖縄大会で目指すのは「全員同じ場所です。一堂に会す」です。これまでの大会は、最終日の大懇親会も分散会場で行われがちでした。それではせっかくの交流の機会が薄れますので、沖縄大会では大懇親会の会場を一カ所(沖縄市体育館)にし屋台村の演出を考えています。

地域活性化につなげる

「11月24、25日に向けて、今後の課題などは。」

新城 この2年間、「法人会全国青年の集い」はきちんと開催できまされたので、参加人数の想定が難しくなっています。いまのところ約1800人を想定しているのですが、コロナ禍で動けなくなった反動で、だいぶ膨らむのではないかと予想されます。どれだけ増えてもきちんと対応できるように、準備の詰めにいま、入っています。バスやタクシーが混み合わないか、レンタカーの利用が多くなると駐車場は間に合うかなど、交通機関が最終的な課題になりそうです。

大城 一日のスケジュールが終わった後、沖縄市にせっかくいらした皆さんが飲食を楽しんでいたような繁華街マップといいたいと思います。情報提供を考えたいと思っています。

期間中その日のスケジュールが終わっても楽しんでいただける工夫が必要ではないかと思いません。



新城 良仁 氏

―沖縄大会開催に向けて、県内法人会の全会員に呼び掛けたいことなどがあれば。

大城 沖縄大会を成功に導くには、県内法人会の皆さんのマンパワーがどうしても必要になります。ですので、まだ参加できていない青年部会の皆さんには、特にご協力をお願いしたいと思っております。この沖縄大会が終了すると、次の沖縄開催は恐らく数十年後になるでしょう。それだけに貴重な経験ですからぜひ、一緒に汗水を流し、交流をし、良い思い出をつくってまいりましょう。

平良 これまで、各地で開催された大会に参加してきました。振り返ってみますと、大会そのもののスケジュールや内容だけでなく、その後の宿泊先、懇親会先で見た街の風景や人との出会いがポイントになって、その地へまた行きたいかどうかにつながるような気がします。そういう意味で、県内の会員の皆さんには、大会そのもののお手伝いだけでなく、全国各地からいらしてくださる方々とできるだけつながりをもってもらえるといいな、と願っています。細かい対応が必要になってきますが、「ゆいまる」というテーマとも重なります。つながる機会を積極的につくり、絆を深める大会にしたいと思っておりますので、ぜひ参加をお願いします。

―全国から同志をお迎えするにあたり、お一人ずつ、あらためて抱負を。

大城 全国からいらつしやる皆さんが、沖縄大会に参加してよかったな、沖縄県に来て良かったなと思える良い大会にしたいと思っています。

事前視察にいらした全法連の皆さんとは良い交流ができており、出会いに感謝しています。本番でも「出会いを大切にしていきたい」という思いで、おもてなしをしたいと考えています。

新城 実は、昨年の佐賀大会で、こちらの平良修一会長が「来年の沖縄大会では1、2日間ではなく1週間ほど滞在していただき、沖縄の良さを満喫し、大会のすばらしさ、沖縄から始まる新たなチャレンジを見ていただきたい」という熱い宣言をなさいました。それを実現すべく努力しているところですので、平良会長が宣言した通り、全国からいらつしやる皆さんは1週間、沖縄を満喫していただき(笑)、沖縄の会員と交流してほしいと願っています。

平良 沖縄へ何度もいらしている方も、今回は法人会のユニークな大会であり、沖縄市を会場としますので、これまでとは違った沖縄を見聞していただけるのではないかと考えています。多くの沖縄の会員がお迎えしますので、ぜひ、沖縄各地のメンバーと交流していただき、いまままで知らなかった沖縄にぜひ触れていただきたいと願っています。



(司会) 銘苅 茂 専務理事

〈座談会を振り返って〉

沖縄大会の開催に向けて、お三人の「基本に帰ろう」「沖縄から変えていこう」という意識の高さにあらためて気づき、感じ入りました。前回の沖縄大会では「かりゆしウエア」の全員着用が話題になりましたが、今大会は、それに勝るとも劣らない成果をあげ、全国からいらつしやる青年部会員の皆さまが手応えを感じてくださることを確信しております。法人会会員の皆さまには、開催に向けてご協力をよろしくお願い申し上げます。(銘苅)

大会副会長



仲本 忍 氏
沖縄中部法人会青年部会 部会長



宮城 敦 氏
北那覇法人会青年部会 部会長



座間味 一朗 氏
那覇法人会青年部会 部会長



宮城 智一 氏
八重山法人会青年部会 部会長



下地 一二三 氏
沖縄宮古法人会青年部会 部会長

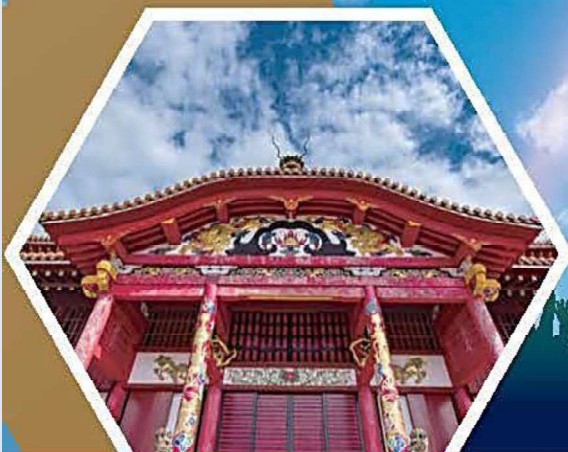


徳村 政尚 氏
沖縄北部法人会青年部会 部会長

第36回 法人会全国青年の集い

沖縄大会

2022 11/24 THU ▶ 25 FRI



ゆいまーる
未来をまもり、拓く

主催:公益財団法人全国法人会総連合・全国法人会総連合青年部会連絡協議会
主管:一般社団法人沖縄県法人会連合会・沖縄県法人会連合会青年部会連絡協議会

<https://hojinkai.okinawa/>